

# Photo Gallery

## タウンウォッチング 函南の魅力、再発見



▲模型を見ながら丹那断層の説明を受ける参加者

町では、町の魅力を再発見してもらうため、町内の団体を対象に函南町の施設や文化財などを見学する「タウンウォッチング」を開催しています。

8月18日に開催した、第1回目に塚本子ども会がごみ焼却場・リサイクルプラザや建設中の函南運動公園などの施設、丹那断層などの文化財を見て回りました。

タウンウォッチングは希望団体を対象に、11月30日までの平日に実施します（要申し込み）。

## カーマン市教育研修訪問派遣団 海を越えた温かい交流



▲書道を通じて交流が更に深まりました

7月30日～8月9日、函南町都市交流協会主催により、姉妹都市・アメリカカリフォルニア州カーマン市で教育研修訪問が行われました。訪問団長、引率教諭、函南中学校生徒5人、東中学校生徒3人が参加し、ホームステイなどを体験しました。

8月19日には帰国報告会が行われ、異文化に触れた驚き、言葉を越えた交流の喜び、研修の機会を与えてくれた周囲への感謝などが参加者から発表されました。

## 中心市街地ワーキンググループ 町民意見からまちづくり



▲具体的な方策が多く提案されました

8月2日、函南町役場で、東駿河湾環状道路開通を見据えた将来の中心市街地の在り方を考えるワークショップが開かれました。

平成20年のワークショップでの提言を受けて作成された基本構想案をもとに、町民や各種団体関係者約60人が「点在する駐車場を一か所にまとめてはどうか」「側道の裏には区画道路の整備が必要」など意見を出し合いました。今後も中心市街地の活性化と沿道の土地利用などを具体化させるため、3回ほど開催し、今後のまちづくりに反映する報告書にまとめられます。

### まちづくりセミナー

## 町民・行政の知識向上と共有を目指して



### ▲知識を行政・町民が共有しまちづくりにいかします

8月11日、函南町役場で、子ども虐待防止学会顧問で医師の松井一郎さんが、児童・高齢者虐待の現状を語りました。写真で児童虐待の実例が紹介されると、参加者から驚きと悲しみの声が上がりました。8月25日には、静岡県地方気象台防災気象官の熊田浩一さんが防災情報と効果的活用について語りました。防災気象情報の確かな入手方法やその内容などの具体的な紹介に参加者は熱心に聞き入っていました。

### 図書館等複合施設ワークショップ

## 町民の声を施設づくりに



### ▲グループごとの検討で熱い意見が交わされました

8月5日、函南町役場で、平成25年4月の開館を目指して建設計画中の（仮称）函南町図書館等複合施設の有効活用を目的としたワークショップが開かれました。町民約20人が参加し、施設の使い方について「中庭を利用して屋外で読み聞かせ」「利用者層を拡大するために意見を出し合いました。ここで提案、検討された意見は、平成22年度中にまとめられる実施計画に反映されます。

### 函南町総合防災訓練

## 「HUG」で避難所運営を模擬体験



### ▲訓練では迅速で的確な判断が要求されます

8月29日、函南町役場で総合防災訓練が行われました。今回は東海地震の発生を想定し、避難所の立ち上げや運営を模擬体験できる「HUG」が実施されました。「HUG」は避難者それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てられた学校の体育館や運動場などの平面図に適切に配置していくものです。参加した町職員は、避難所運営の難しさを体験し、今後の課題などについて話し合いました。

### 町民の森づくり事業

## わたしたちの森を育もう



### ▲身の丈ほどもある草を刈り、育成環境を整備

8月22日、南箱根ダイヤランド東側の山地で、ボランティアによる町民の森づくり事業が行われました。暮らしの恩恵をもたらす山を育て、適切に管理するため、丹那、畑、ダイヤランド区の皆さんや桑原育林組合関係者、町議会議員、町職員など約50人が参加し、下草刈りなどの整備作業を行ったほか、町制40周年記念事業で植樹されたヒメシヤラやモミジの育成状況の確認を行いました。